

# ほんごう

富山高等専門学校本郷キャンパス同窓会会報

No.22

2018年(平成30年)10月発行  
〒939-8630 富山市本郷町13番地  
富山高等専門学校本郷キャンパス同窓会  
発行責任者：石山彰雄  
制 作：有限会社 青青編集



## 会報への掲載原稿を募集しています

ほんごう会では、同窓会活動の活性化につながるクラス会・クラブOB会の開催に対して、助成をおこなっています。

助成金(1万円)の拠出条件は下記のとおりです。

- ①10名以上によるクラス会・クラブOB会の開催
- ②会報掲載用の簡単な原稿と、写真の提出
- ③クラス代表(理事)・クラブOB会代表からの助成金の申請(年1回のみ)

会報への原稿掲載・助成金の申請をご希望の方は、下記E-mailアドレスまで、ぜひ原稿をおよせください。

詳しくは  
ほんごう会ホームページ



または、同窓会メールまで  
E-mail : [ezx02722@nifty.ne.jp](mailto:ezx02722@nifty.ne.jp)

いっぺんこられまあ〜

平成30年度 **ほんごう会大懇親会**に多数の参加を!!

## ほんごう会大懇親会 (平成30年度総会)

平成30年 **11月10日(土)**

PM5:00 ~ 講演会(講師:退職予定の寺西恒宣副校長)

PM6:00 ~ 総会・懇親会

●場 所 / **ホテルグランテラス富山**  
(旧名鉄トヤマホテル)

●会 費 / 30才未満及び女性 ￥3,000  
30才以上の男性 ￥5,000  
新卒者 無 料

恩師の先生方にもご案内しています。

なお出席の方はメール、FAXまたは同封のはがきにて、  
**11月2日までに**お知らせください。

# 統合同窓会 「富山高等専門学校同窓会」の行方

富山高専本郷キャンパス同窓会

「ほんごう会」会長 石山 彰雄



平成21年10月に、富山工業高等専門学校と富山商船高等専門学校が統合して富山高等専門学校が誕生しました。

同窓会組織は御存知のとおり本郷キャンパスの「ほんごう会」、そして射水キャンパスの「北斗会」が双方存立しており、形式的には統合した「富山高等専門学校同窓会」なるものも誕生しています。

統合後9年が経過し、卒業生も輩出されています。同窓会組織の一員としての活躍を期待したいところです。学校の方針としても、本郷キャンパス、射水キャンパスという壁を取り払い富山高等専門学校としての体裁を整えてゆきたい様です。

同窓会組織も本郷キャンパス、射水キャンパスの区別のない組織として新たな富山高等専門学校同窓会を正式に立ち上げ、統合後の卒業生をこの組織の構成員とする形態を作ることも考慮中です。

先般、9月12日(水)に学校、後援会、同窓会で恒例の三者懇談会を開催しました。議題は卒業祝賀会開催の是非と、課題の同窓会統合の問題でした。卒業祝賀会については予算と時間の制約上、見送りとなりました。

卒業生の慰労と激励のための壮行祝賀会を開催しないこととする全く後ろ向きの感覚に、私には賛同する余地はありませんでした。

同窓会統合の課題については、「北斗会」「ほんごう会」の現状と現在も存在している統合同窓会の会則な

どの議論を重ね、とりあえず統合同窓会としての実質を備えることは不可能との決議のもと、会報の一元化や、統合後の卒業生を理事に加える等の事を今後の検討課題とすることとしました。

「ほんごう会」は、会則上卒業生の各クラス代表が同窓会の理事となっており、定時理事会(毎年6月に開催)には出席要請をしていますが、たまに出席することはあってもその後の活動にはなかなか参加しないなど、同窓会とのつながりが希薄となっているのが現状かもしれません。同窓会としても、新たな卒業生が参加しやすい環境作りを鋭意努力する必要があると思われます。

同窓会は、基本的には卒業生の情報交換と懇親の場の設定が重要な活動の柱ですが、高等専門学校の同窓会としては、もう一つ大きな使命があります。高専制度の充実発展です。このことの提言を機構や文科省へ要望し続けることこそ高専同窓会の使命と責任だと考えます。

ところで、今年の同窓会総会は例年の11月3日、文化の日近辺では出席しにくいとの意見を汲み取り、11月10日(土)とすることとしました。

11月3日は祭日、連休で参加しにくいと考えられている同窓生には、是非今年出席頂ければと考えます。

そして、総会前の講演会では、今年度退職される寺西恒宣副校長の思い出話を聞くことができます。

寺西先生にお世話になった同窓生は、是非総会において頂きたくお願い申し上げます。

## 富山高専の近況報告

常々、ほんごう会の皆様には本校の教育・研究に対し多大なご協力・ご支援をいただき、大変ありがとうございます。

富山県は歴史的に、北海道から長崎・琉球にわたる北前船の重要な中継港となってきた海洋県であり、この交易によって始まった製薬産業・化学産業、そして、立山連峰の水資源及び水力エネルギー利用によって始まった素材加工産業を大きな二本柱とする我が国でも有数の科学技術県です。従って、グローバルな世界で活躍できる人材、科学技術・海洋の分野で「イノ

ベーションを創出できる人材、そして社会に貢献できる人材」を育成し続けていくことは、我が国そして富山県の将来を導くための重要な課題となっています。

現在の本校は、本科に機械システム工学科、電気制御システム工学科、物質化学工学科並びに電子情報工学科の工学系4学科と、全国では稀有の文系の国際ビジネス学科、そして、東日本では唯一の商船学科という幅広い教育分野の本科6学科、そしてそれぞれの学科に引き続く専攻科を有する全国でも例のない高専



校長 賞雅 寛而

となっており、国内57の高等専門学校トップ校として、我が国及び世界で活躍する海事技術者、そしてビジネスパーソンを育てることを使命とする、国内そして富山県有数の高等教育機関です。

この多分野にまたがる15歳からの専門基礎教育（すなわちカレッジ教育）は、我が国の、そして富山県の人材要請に良く対応しており、このことは産業界、特に我が国の海事クラスターから高く評価されてきています。また本科・専攻科における専門基礎・専門分野のそれぞれの習得は、大学、特に全国国立大学からこれも高く評価され、編入学及び修士進学による本校からの高等教育機関学生移動を活性化しています。

しかしながら今後我が国の社会的組織は、少子高齢化による産業界の縮小などとともに今後20年、30年と一層激しくなると予想されている物流構造変化、環境要因、経済的・社会的変化及び膨大なビッグデータを活用するIoT技術・深層学習型次世代AI技術などの産業構造そのものを変えてしまうような新技術の展開に対応し続けていかなければなりません。

ここで高専は約50年前に「専門技術者の養成」を行う高等教育機関として発足し、日本の経済的・技術的発展に寄与してまいりましたが、定年が55歳であり経済成長期であった黎明期の高専の社会的役割と、65歳になりまた更なる延長が考えられている経済成熟期の現在

の役割は当然のことながら変わらなければなりません。また例えば2007年生まれの日本人の半数は107歳まで生きるという予測が複数の研究機関によりなされており、現在そして近未来の日本の社会経済構造に鑑みて、現在の、そしてこれから入学する学生にとっては、75歳もしくは80歳定年はもはや現実のものとなってきています。

これらの予測される激しい環境変化に対応するために、本校は大規模な教育体制整備を現在計画中です。この計画はまだ固まったものではありませんが、射水・本郷両キャンパス間の学生移動・教職員移動の定常化、学生の要望の多様化に対応する転学科の簡易化、県外学生・海外学生に対する入学及び編入学制度の拡充、及び英語習熟を主とする学生の国際化などを主幹とし、学生の皆さんの入学の16歳から本科卒業の20歳まで、あるいは専攻科修了の22歳までという長い人生の中で最も成長する重要な時期を、本校においてより充実して過ごしていただき、またその後の人生に本校がしっかりとした糧となってくれることを目的としています。

このように本校は時代の要請に合わせての進化をしてまいります。ほんごう会の皆様には、先輩としてこれまでと同様の新たに輩出される卒業生及び本校へのご指導ご援助をいただきますようお願いいたします。

末筆ながら、ほんごう会の益々のご繁栄と会員の皆様のご健勝を心よりお祈りいたします。

## 富山高専に勤めて良かった！

副校長  
機械システム工学科 寺西 恒宣



卒業生の皆さんお元気ですか。M科の寺西（旧姓児玉）です。ご無沙汰しております。高専に勤めて早39年、人生のほとんどをこのキャンパスのなかで過ごしています。平成31年3月末で定年退職を迎えるにあたり、いくつか思い出を紹介したいと思います。

私は昭和55年4月に本校へ赴任しました。その頃は高速道路がまだ工事中で学校のまわりは田んぼばかりでしたが、正門から一步入るとそこは「さすが国立高専」、ロータリー・噴水・白い3階建ての校舎、広いキャンパスなど、まわりとは一線を画す素晴らしいものでした。そしてここで勤められることのありがたさと生涯の仕事として全うすることの決意を強く感じたことを今も覚えています。若き新人として多くの先生方や事務の方々、学生のみんなからかわいがってもらえたおかげでアツという間に学校に馴染んでしまい、夏を迎えるころには「先生何年目ですか」と真顔で質問されたことも思い出されます。現在はなくなってしまいましたが、毎日のように行われた運動

会の応援歌練習、騎馬戦や棒倒し、10kmマラソン、寮祭での門作り、ヤミ鍋、天気の良い日はグラウンドでソフトボールなど活気に満ちた日々でした。北陸地区大会でも富山高専は毎年総合優勝し、多くのクラブが全国大会へ進んでいました。赴任した最初の冬は56豪雪でした。屋上の雪下ろしを学生と一緒にやることもあり。スノータイヤの交換や、雪に埋もれた車を持ちあげてくれた当時寮生の諸兄との思い出は今もなお鮮明です。柔道部での20年、寮生や学生会とのやり取り、ロボコン、そんなこんなの全てが今日の私の糧になっているようです。

一方、クラス担任を初めて持ったのが32歳。1Mでした。その翌年、2年生全員160名で行った1泊2日の立山登山。その時の学生は今45～46歳。素敵な思い出です。その後1M～5Mすべての担任を何度かさせていただきましたが、不肖の担任でした。子に学ぶと言われます。まさに、学生諸君に育ててもらい、何とか今日を迎えています。卒研関係では、堅田馬場君を筆頭に卒研究生127名、専

攻科生19名(内部15名、他研究室から4名)、延べ131名。寝食を忘れ徹夜で行った実験、科研テーマと一緒にやったことあれば、敢えてテーマを与えず「何をやりたいか自分で考えてごらん」と一見優しくみえるものの大変な課題を与えたことも。いろんなケースがありましたが、「よく

学びよく遊ぶorよく遊びよく学ぶ」順番はともかく、自然現象を素直に観察しメカニズムを解明する楽しさ、さらに工学的に応用していく楽しさを一緒に味わっていました。

月日の経つのは早いものです。今は日清紡跡地にショッピングセンターや住宅街ができ、上級生は自動車通学もでき

るようになりました。富山工業高専から富山高専への再編統合もありました。卒業したはずなのに似た顔がいたりと思うと、卒業生の子供だったり兄弟姉妹従妹だったり。毎年毎日が楽しいひと時でした。

M科に限らず学科を越えて多くの皆さんに出会えたこと、そして皆さんと素敵な時間を共有できたことに感謝しています。「富山高専に勤めて良かった!」

卒業生の皆さんはじめ富山高専のますますの発展を祈念しております。



赴任最初の卒業生と私



10kmマラソンスタート



赴任当時の先生方

## 会員のひろば

## クラス会・OB会情報

### E1同期会報告

同期会の持ち回り開催に終止符、次のステップへ。

1996年に熱海でスタートし、連続22回目の同期会は、'17年は10月29日、30日に飛騨・高山で開催し、東は日立、西は明石から総勢19名が集まりました。

台風22号の接近と秋雨前線の影響で、生憎の小雨混じりの寒い晩秋となりましたが、国内外の旅行通である幹事長のM君のリードよろしく、温泉でゆっくり泊り、翌日は名所を巡り、歩き疲れたところに名物“ほうばみそ”料理をいただき、旅を締めくくりました。

'69年の卒業時に40名全員が、地元・北陸をはじめ、

関東、関西、中部へと就職しました。その後は、それぞれの地区ごとに集まり、ミニ同期会はやっていましたが、'96年に全員に声がかかり、集まったのが、熱海というわけです。すぐに4地区(関東、北陸、関西、中部)ごとの持ち回り開催という形を取ることが決まり、翌年から五箇山、京都、蒲郡(愛知)と順に回り始めました。

しかし、退職を機にUターンするメンバーや病気で亡くなるメンバーも出てきました。

また、大都市近郊での開催も会を重ねるごとに遠方になったりで、徐々に集まりにくくなってきたのも事実です。

今回は、横浜・相模原(JAXA見学)地区で開催しました。新横浜のカラオケVIP ROOMにて、主催の関

東地区幹事団より提案があり、今までの4地区持ち回り開催は、次の中部地区開催を最後とし、次々回より、北陸地区に一本化することに決定しました。

数えて“70歳”の古希の年に、22回で



持ち回り開催を終わりとし、次の新しい形へ前進することになりました。

“70”と言っても、皆、本当に若く、健康寿命の全国平均を大幅に上回りそうなメンバーが大勢いるように思えます。

団塊の世代の一群を形成し、突っ走ってきたメンバーですが、意欲はまだ衰えていません。

現在も仕事に情熱を燃やす人、玄人はだしの趣味を

楽しむ人、新しい趣味にチャレンジする人、ゴルフのラウンド・年100回以上を連続達成する人、ダンスを習い、愛好する人、体力をつけて海外クルージングに挑む人と、挙げていけばきりがありません。

このかけがえのないメンバーとの交流を、命ある限り続けていきたいと思っています。

電気工学科 一期生 (井本)

## E3クラス会

### 2017年E3クラス会@房総半島

E3メンバーで毎年開催している旅行会、昨年2017年は7/9(日)～11(火)の日程で、神奈川県横浜と千葉県房総半島の旅を満喫して来ました。毎年実施の旅行会ですが、今年も北陸・関東・関西から11名もの仲間が参加しました。

初日、北陸チームは新幹線で横浜まで。そこで東京チームの2人と合流して横浜見学。「カップヌードルミュージアム」や「赤レンガ倉庫」を見学、水陸両用の「スカイダック」に乗りし横浜港周辺を見学しました。そのあと「海ほたる」を経由して房総半島西側海岸にある「民宿おしなや」に全員集合。海ほたるを経由すると横浜から房総半島まで1時間程で到着しました。

翌日は房総半島の名所見学。「鋸山ロープウェイ」で山頂まで。山頂駅から展望台まで階段を上り、房総の海や山が見渡せ絶景でした。次はSNSでも話題の絶景、岩のトンネルを貫く「濃溝の滝」。光の差し込み方によってはハート型に見えるらしいのですが、どうもここはカップルでの見学場所らしく、60歳代のおじさんには感激薄。

2泊目は房総半島西側の高級ホテル「勝浦ホテル三

日月)。純金風呂に浸かって、ゆったりと快適に過ごす事が出来ました。

しかし富山の田舎に住んでいると今度は都会に行きたいとの意見で、2018年の開催は大阪見学と宝塚観劇で計画中です。「有馬温泉」の高級旅館に宿泊し、「宝塚歌劇」を見て(嫁さんが観たいからと連れて来る同学歓迎です)、そのあと憧れの「新地クラブ」で貸切りパーティを予定しています。日頃疎遠な同学、是非参加して下さい。

参加者：(北陸) 上田、川原、澤田、中島潔、高田  
(関東) 大石、熊本、野村、森、米田  
(関西) 嶋

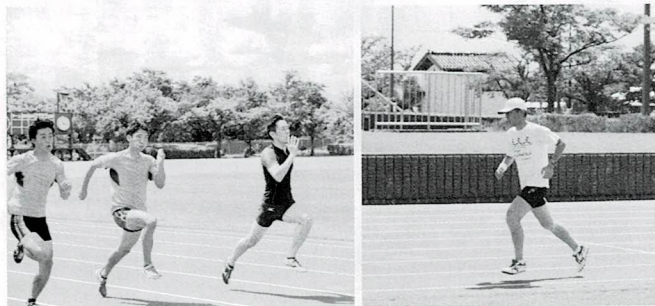
幹事：野村正信  
報告：川原久雄



## 陸上部OB会活動報告

お盆の8月14日、毎年恒例の富山高専陸上部OB会を開催しました。

今年はコンディションの良い競技場トラックで記録を狙いたいという熱心なOBの意見を取り入れ、富山空港横の秋ヶ島陸上競技場を半日貸し切った開催となりました。



現役部員も15人近く応援に駆けつけてくれて、大変活気溢れる1日となりました。競技補助や記録、応援で盛り上げてくれて、豊嶋先生、現役の皆さんには大変お世話になりました。

子供連れで参加のOBも多く、親子で競技に参加する姿や、生まれたばかりの双子ちゃんに会えたり、来年息子が高専受験します! と嬉しい話も聞けました。私も陸上部を引退して17、8年になりますが、「ツトー!!!」という陸上部独特の応援に背中を押されながら走れるのは本当に気持ちの良いものですね。最近OB会から疎遠になっている先輩方、卒業したての新人OBの方、来年私達と一緒に走りませんか!? お待ちしています。

最後に1つ。草原のような高専グラウンドについてです。もはや学生の手でどうにかなる範囲ではないと感



じます。これから高専に入学してくる未来の後輩のためにも、愛着ある母校のグラウンドでこれからもみんなで集えるように陸上部OB一丸となってサポートしていきたいです。長くなりましたが、皆さんまた来年のお盆に会いましょう！

(OB会副会長 33M 松永友宏)

## 平成28年度卒業—物質化学工学科

### 第2回目同窓会

今年も年末に集結しました！

やっぱり騒がしい！

来年も再来年もその先もよろしく！

県外勢もちゃんと毎年帰ってきてね！（山本なつみ）



## M42同窓会



2017年8月13日(日)に同窓会を開催したことをご報告いたします。

真夏でしたので、滑川の東福寺自然公園内でBBQを開催しました。

参加人数は県内外を含めて13名でした。

若い頃は(まだ若いですが)質より量でしたが、食べる量も落ち着き、質の高いBBQが出来たと思えました。結婚の連絡も毎年聞くようになり、年2回クラス会で集まっていますが、2回以上集まる機会が増えています。

今後も幸せな連絡が続きます！

(クラス会計係 松井大貴)

## M1同窓会

2年毎に開催しているM-1同窓会は、幹事3名(畠山、道谷、小林)が1年前から企画を練り、今回は人気のある雨晴温泉「磯はなび」で6月10日(日)1泊2日で開催した。

物故者4名を除くメンバー40名中21名が参加、毎回参加して頂いている恩師の森先生は所用で残念ながら御欠席。地域別では、

- ・関東地区 4名(毎回出席のM君は手術後のリハビリ中で欠席、次回是非参加して欲しい)

- ・関西地区 1名 ・名古屋地区 1名

- ・福井県 1名 ・石川県 3名 ・富山県 11名

参加者21名中、まだ現役で活躍して国の社会保障制度に貢献している者が6名。その中には自ら考案した融雪新技術でベンチャーを立ち上げ、年商数億

を計画しているOR君がいる。

1次会の近況報告では、さすがの強者連中も古希を迎えて健康面の話題が多い。大手術を受け5月末に退院して参加してくれたO君には皆感謝感激す



る。持ち時間1人2分を大幅にオーバーして語る姿は50年前の学生時代と全く変わっていない。2次会はカラオケで楽しみ、最後は全員で懐かしのグループサウンドメドレーを合唱。3次会では幹事のH君持参のナポレオンを飲みながら0時過ぎまで盛り上がり談笑する。

翌11日(月)は全国で唯一の工業高専と商船高専が高度化再編により統合したスーパー富山高専の射水キャンパスを見学させて頂く。水谷副校長から、

商船学校時代から高専への歴史ある「商船学科」と本郷キャンパスには無い文系の「国際ビジネス学科」の説明を受け、特徴のある人材教育と女性の学生比率46%に感嘆する。最後は商船学科の練習船「若潮丸」の船内を見学させて頂き、有意義な2時間を経験した。

新湊きつときと市場で白エビ定食の昼食を取り、2年後の全員元気な姿での再会を約束して2日間の会を終了した。(2018年6月 小林 諭)

## ハンドボール部OB会



## 秋元先生の功労賞のお祝いとOB会

富山高専ハンドボール部の顧問として長年ご活躍された秋元先生に対して、日本ハンドボール協会から功労賞が授与されることとなり、そのお祝いとしてOB一同が12月30日に集まりました。

急な声掛けにもかかわらず、上は平成2年度入学、下は平成21年度入学まで、幅広い世代が集まり、今だから言える話や、全国大会のときの思い出など、笑顔が絶えることのない集まりとなりました。

皆が口々に、「ハンドボール部で良かった」と話しており、学生生活の素敵な時間を思い出すことのできたひと時でした。

平成13年度入学 電気工学科 ハンドボール部部长  
三上 拓真(みかみ たくま)

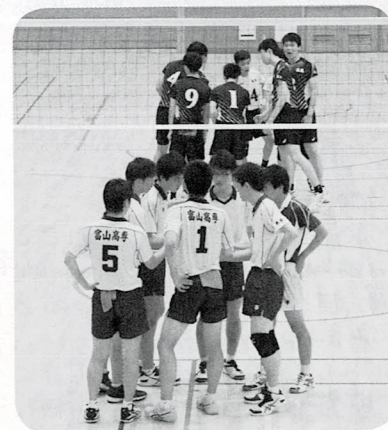
## 同窓会助成部活紹介

### バレーボール部

新年度に入り、男子部員4名、女子部員3名が加入し、男女合わせると20名程の部になりました。平日の練習は、男女でバレーコートの半面しか使えないというハンディを抱えながらも、学生同士で工夫しながら効率の良い練習を行っています。その分、土日は、他校との練習試合や県外遠征等により実戦経験を積み、さらに練習時間を十分に確保して技術力を高めています。

現在、男子部は、高校新人大会からベスト8を守り、今年6月の高校総体ではベスト4をかけて氷見高校に挑戦し、1セットを先取したものの逆転負けで悔しい思いをしました。一方、女子部は、昨年秋から高校や高専の公式戦に出場し、高校の大会では残念ながら未だ勝利はないものの、今年3月に兵庫県で開催された高専インカレでは、念願の初勝利を収め、決勝トーナメントへ進出することができました。

同窓会よりいただきました助成金は、防球スタンド3台と電子ホイッスルの購入に活用させていただきました。



た。この場をお借りして厚くお礼を申し上げます。ありがとうございます。これから、男子部は、北陸地区高専大会の優勝と高校秋季大会のベスト4、女子部は、北陸地区高専大会で上位進出、高校の秋季大会で初勝利できるように頑張りたいと思います。今後とも応援のほどよろしく願っています。

【お知らせ】

富山高専バレーボール部ではFacebookページを開設し、本郷、射水キャンパスの男女バレーボール部の対外試合結果や活動状況等を随時お伝えしていきますので、是非ご覧ください。

【富山高専バレーボール部Facebookページ】  
<https://www.facebook.com/toyama.volleyball/>

## 野球部

同窓会より、クラブ活動助成をいただき、どうもありがとうございました。野球場のベンチの屋根の修理代、防球ネットの修理代等に使用させていただきました。

野球部は、高専大会へ出場した選手は高校の大会に出場できないため、3年生以下は高校の大会、4・5年生は高専の大会に参加しております。高校チームは試験期間以外、公式戦とはほぼ毎週、練習試合を行っています。現在、部員は5年生6人、4年生9人、3年生3人、2年生5人、1年生1人、マネージャーは4年生3人、1年生2人います。高専チームは、高専大会に向けて頑張っています。

高校チームは、春季大会は1回戦で富山西高校と対戦し、10対0（6回コールド）で勝利し、2回戦は高岡高校と対戦し、延長10回まで戦い、残念ながら12対13で敗戦でした。現在、9人ですが、夏季大会に向けて、過去最高のベスト

8以上を目標に頑張っています。

野球部員たちは、少ない人数で、日々本校の野球場で、頑張っている練習していますので、大会のときには、同窓生の皆様も球場に応援に来て下さい。

野球部顧問 機械システム工学科 井上 誠



## 美術部

私たち美術部は、芸術作品に触れることが好きです。そのため作品制作において、部員同士がアイデアを出し合ったり技術を教え合ったりするなどの学生の主体性が見られます。

普段の活動は、イラストを描くことはもちろん羊毛フェルトで動物や食べ物を作ったり、UVレジンで樹脂アートにチャレンジしたりしています。また、今年の2月には本郷キャンパスの先生方に協力してもらい、技術室でガラス細工を行いました。皆、和気あいあいとガラス細工に取り組んでいました。これらの作品は毎年、高専の文化祭で展示しています。

今後の活動としては、部員それぞれが個性を活かしユニークな作品作りに取り組み、より芸術の深みを知ることが出来たらと思います。



## サッカー部

サッカー部は、選手31名、マネージャー6名の計37名で活動しています。数年前までは部員が少なく試合も大変でしたが、近年は部員が増え、部内での競争も激しくなり、やっと部活動らしい活動が出来るようになりました。

昨年度の高専総体と高校選手権では、目標であるベスト8にはまだまだ遠い道のりであることを痛感させられましたが、次の世代につながる試合になりました。また高専北信越大会では前年度準優勝の石川高専にあと一歩というところで勝ちきれず、涙のみでした。

今年は高校選手権ベスト8、全国高専大会出場を目標に日々の練習に励んでいます。平日は毎日2時間半の練習、休日は練習や練習試合、長期休業中は県外遠征などを通して、チーム全体のレベルアップに力を入れています。

同窓会より頂きました助成金は、3月に実施しました豊田への遠征補助費に充てさせて頂きました。この場をお借りして御礼申し上げます。高校リーグに所属していない高

専サッカー部は試合経験の少なさに悩まされていますが、今回の遠征では実戦経験を積む良い機会となりました。

サッカー部では、7月7日から福井県丸岡スポーツランドで行われる高専北信越大会に向け、チーム一丸となって懸命に練習していますので、今後ともご支援のほど、よろしくお願いいたします。（部長 4M 嶋田慧斗）



ほんごう会のホームページアドレスは

ほんごう会

検索

<http://www.tk-hongou13.net/>

【会員専用ページ閲覧IDとパスワード】

ユーザー ID : member

パスワード : passhongou13

【メールアドレス】

ezx02722@nifty.ne.jp

英語で表示されるかも知れませんが上段にID、下段にパスワードを入力してください。